

用紙・写真サイズ

用紙のサイズは、日本工業規格（JIS）によって定められ、A列判（A判）、B列判（B判）、四六判、菊判、ハترون判などがあります。A判、B判は、例えばA4とかB5のようにAやBに続けて裁断の回数を表記することでサイズを表すようになっています。

A判

A判は、我が国では1929年にドイツの工業規格を導入したのですが、合理的で利用価値も高いことから、国際規格（ISO規格）にも採用されています。全紙（A0判）の面積を1㎡とし、用紙を次々に横半分に裁断していくことで各種のサイズが実現できますが、どのサイズも縦横の比率が同じである、ということが最大の特長です。

B判

我が国では、江戸時代の公用紙として使われた“美濃紙”のサイズに近い大きさとして多用されてきましたが、現在のJIS規格のB判の面積は、A判の1㎡に対して1.5㎡とされています。B判も、半分に裁断することで多くのサイズを実現できますが、A判と同じく、どのサイズも縦横の比率は同じです。かつての我が国の公文書は、永らくB判（B4、B5）が用いられてきましたが、1990年代から順次ISO規格であるA判に切り替えられ、現在ではほとんどの公文書にA判が用いられています。

C判

C判も起源はドイツにありますが、現在ではISO規格で定められています。サイズはA判とB判の間に位置し、封筒用として使われることが多いのも特徴の一つです。

その他

四六判 美濃紙の八面取りの寸法で二取りすると、4寸2分×6寸2分になるところから呼ばれるサイズ（788×1091mm）

四六半才判 四六判の半分のサイズ（788×546）

菊判 明治時代からこのサイズが新聞に使用され、新聞の“聞”が“菊”と解釈されたため（636×939mm）

ハترون判 包装紙として使われたハترون紙がこのサイズであったため（900×1200）

用紙サイズ一覧表

断裁数	A判 (mm)	B判 (mm)	C判 (mm)
	4 A 0 1682×2378		
	2 A 0 1189×1682		
0	A 0 841×1189	B 0 1000×1414	C 0 917×129
1	A 1 594×841	B 1 707×1000	C 1 648×917
2	A 2 420×594	B 2 500×707	C 2 458×648
3	A 3 297×420	B 3 353×500	C 3 324×458
4	A 4 210×297	B 4 250×353	C 4 229×324
5	A 5 148×210	B 5 176×250	C 5 162×229
6	A 6 105×148	B 6 125×176	C 6 114×162

7	A 7 74×105	B 7 88×125	C 7 81×114
---	------------	------------	------------

写真のサイズ

用紙サイズ	規格	用紙サイズ (mm)	縦横比	面積 (㎡)
B 0サイズ	B 0	1030×1456	1;1.41	1.5
A 0サイズ	A 0	841×1189	1;1.41	1
B 1サイズ	B 1	728×1030	1;1.41	0.75
全倍サイズ	全倍	600×900	1;1.5	0.54
A 1サイズ	A 1	594×841	1;1.41	0.5
B 2サイズ	B 2	515×728	1;1.41	0.375
大全紙サイズ	大全紙	508×610	1;1.2	0.31
全紙サイズ	全紙	457×560	1;1.23	0.26
A 2サイズ	A 2	420×594	1;1.41	0.25
B 3サイズ	B 3	364×515	1;1.41	0.188
半切りサイズ	半切り	356×432	1;1.21	0.154
A 3サイズ	A 3	297×420	1;1.41	0.125
B 4サイズ	B 4	257×364	1;1.41	0.094
四つ切りサイズ	四切	254×305	1;1.2	0.078
A 4サイズ	A 4	210×297	1;1.41	0.063